



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表執行役社長 好本 達也
 お問合せ先 財務戦略統括部 I R推進部
 TEL 03-6895-0178

2021年5月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告 (IFRS)

1. セグメント別売上収益 (売上高) (対前年増減率: %)

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	5月度	累計	5月度	累計
百貨店事業	52.3	53.9	81.0	80.3
SC事業	118.7	58.7	235.9	96.3
デベロッパー事業	▲27.4	1.2	▲29.9	0.8
決済・金融事業	19.5	11.4	49.1	44.9
その他	71.2	24.5	49.9	17.0
連結合計	0.4	21.8	84.9	67.3

※注) 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用いたしております。
 2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち百貨店事業と「その他(大丸興業)」の消化仕入取引を総額に、パルコの純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しております(なおパルコでは2017年度から日本基準の売上高を純額ベースで算出する方法に変更しております)。
 3. 当社グループは、2021年度より「百貨店事業」、「SC事業」、「デベロッパー事業」、「決済・金融事業」を報告セグメントとします。従来のセグメントからの変更内容につきましては、P.4「<ご参考>報告セグメントの変更について」をご参照ください。
 4. 心斎橋PARCOは、2020年11月20日に開店いたしました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 5月度の売上高は、前年同時期においても臨時休業や時短営業を行っていたものの、本年は生活必需品売場を営業したことやオンライン接客を強化したことなどにより、大丸松坂屋百貨店合計では対前年78.4%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同81.0%増となった。
- 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高は対前年273.6%増(客数同58.4%増、客単価同135.8%増)であった。
- 大丸松坂屋百貨店の国内売上高(免税売上の本年・前年実績を除く)は対前年77.6%増であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の6月度の既存店売上(法人・本社等を除く)は、9都道府県に対する緊急事態宣言の延長に伴い、引き続き多くの店舗で土日の営業を食料品、化粧品など一部売場に限定したことによるマイナス影響(前年は土日も全館営業)を受けたものの、ラグジュアリーブランド、美術宝飾品などの好調により、14日までの累計で対前年2%増(対前々年▲30%減)、国内売上高は同1%増(対前々年▲23%減)で推移している。

2) SC事業

- ショッピングセンターのパルコでは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う先月から続く緊急事態宣言の大型商業施設への休業要請により東京都内店舗を中心に一部店舗が休業または生活必需品ショップを除いて休業したものの、前年の緊急事態宣言による全店の臨時休業の反動により、前年に対してはプラスとなった。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、パルコスペースシステムズが増収となったものの、J.フロント建装が、前年ホテル工事が好調であったことの反動減により、トータルで減収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、前年、百貨店各店の臨時休業等によるマイナス影響があったことの反動により、百貨店カード取扱高が大幅増となり、増収となった。
- その他は、卸売業の大丸興業が自動車部品・電子デバイス等の好調により増収となったほか、人材派遣業のディンプルでは、レジ業務や短期派遣の受注が前年のコロナ影響の反動で増収となり、全体でも増収となった。

【お問合せ先】 J.フロント リテイリング株式会社
 ・ I R推進部 TEL 03-6895-0178
 ・ グループ広報推進部 TEL 03-6895-0816 FAX 03-6674-7565

2021年5月度 百貨店事業 営業報告(日本基準)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	5月度		累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	36.5	78.7	116.2	80.8
大丸 梅田店	▲18.5	59.4	58.6	71.9
大丸 東京店	139.4	195.9	94.0	58.7
大丸 京都店	73.8	84.7	64.7	43.7
大丸 神戸店	83.6	87.5	98.1	74.5
大丸 須磨店	6.4	29.0	24.1	23.6
大丸 芦屋店	134.9	120.8	92.4	86.4
大丸 札幌店	213.0	179.8	103.8	73.5
大丸 下関店	48.5	65.2	51.1	53.7
松坂屋 名古屋店	118.5	109.5	94.8	71.2
松坂屋 上野店	89.3	138.3	93.4	81.6
松坂屋 静岡店	67.8	120.7	65.2	43.5
松坂屋 高槻店	▲10.6	19.8	15.6	39.1
松坂屋 豊田店	66.5	86.0	46.9	21.7
法人・本社等	26.8	-	8.6	-
大丸松坂屋百貨店合計	78.4	99.2	78.0	61.8
うち商品売上高 ※3	77.2	-	79.2	-
うち不動産賃貸収入 ※3	103.8	-	54.5	-
博多大丸	110.3	116.7	116.5	67.1
高知大丸	93.1	156.1	71.1	73.4
百貨店事業合計	81.0	101.0	80.3	62.2

- ※注) 1. 2021年度より、これまで各店の実績に含めていた法人外売上や本社に帰属する収益を法人・本社等として開示します。対前年増減率は、前年実績を組み替えて算出しています。
2. 2021年度より、これまで不動産事業に含めていた不動産賃貸収入について、GINZA SIXは法人・本社等へ、百貨店周辺店舗等は各店へ含めています。対前年増減率は、前年実績を組み替えて算出しています。
3. 1、2に伴い、大丸松坂屋百貨店の売上高を、「商品売上高」と「不動産賃貸収入」に分けて開示します。「商品売上高」は、「2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高」の合計と一致します。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	5月度	累計
紳士服・洋品	67.6	85.6
婦人服・洋品	131.2	127.8
子供服・洋品	4.7	24.9
その他の衣料品	63.4	61.8
衣料品計	110.5	113.4
身 回 品	56.6	85.0
化粧品	82.1	68.6
美術・宝飾・貴金属	231.2	140.2
その他雑貨	64.2	52.6
雑 貨 計	130.2	95.6
家具	65.8	69.9
家電	▲44.0	▲31.2
その他の家庭用品	74.3	86.4
家庭用品計	68.7	79.8
生 鮮	35.9	37.7
菓 子	89.8	60.7
惣 菜	85.2	75.3
その他食料品	41.7	40.6
食料品計	64.9	55.9
食堂・喫茶	106.4	97.1
サービス	125.9	79.5
そ の 他	▲41.5	▲21.0
合 計	77.2	79.2

- 前年、一部店舗で全館休業していたことの反動などから、ほぼすべての商品分野で、前年に対して大幅増となった。婦人服・洋品では、ラグジュアリーブランドが、オンライン接客や予約制の導入などにより堅調であった。紳士服・洋品では、スポーツ・ゴルフが堅調であった。雑貨では休業中化粧品の電話受注を行ったほか、美術・宝飾品では外商による販売が健闘した。家庭用品では海外ブランド品が好調であった。食品では「ワインバザール」など、WEBでの催事の好調により、オンライン売上も対前年6割増となった。

2021年5月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	5月度	累計
札幌PARCO	-	122.4
仙台PARCO	126.6	63.6
新所沢PARCO	277.5	83.3
浦和PARCO	320.6	97.0
池袋PARCO	5,327.8	112.9
PARCO_ya上野 ※2	27,793.8	191.4
ひばりが丘PARCO	164.1	58.6
吉祥寺PARCO	2,427.3	94.5
渋谷PARCO	2,810.5	145.6
錦糸町PARCO	832.4	107.9
調布PARCO	163.0	64.3
津田沼PARCO	397.8	100.3
松本PARCO	75.8	75.5
静岡PARCO	106.8	74.6
名古屋PARCO	149.7	72.6
広島PARCO	84.6	60.3
福岡PARCO	150.8	95.0
全店計	247.4	98.0
既存店計 ※3	242.0	87.1

- ※注) 1. 心齋橋PARCOは、2020年11月20日に開店しました。
 2. 当社は2021年度より報告セグメントを変更し、従来不動産事業に含めていた上野フロンティアタワーの地下1階及び映画館の実績をSC事業として管理することとしました。従って、PARCO_ya上野の本年実績には地下1階及び映画館の実績が含まれますが、前年には含まれていません。
 3. 既存店計には、心齋橋PARCO、PARCO_ya上野の地下1階及び映画館の値を含みません。

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計		既存店計	
	5月度	累計	5月度	累計
衣料品	290.6	114.4	289.8	106.4
身回品	250.7	101.9	243.9	87.4
雑貨	424.9	122.7	403.1	107.4
食品	31.7	21.7	30.3	19.8
飲食	504.8	114.4	497.0	95.7
その他	632.9	116.3	632.9	102.3
合計	247.4	98.0	242.0	87.1

※注) 既存店計には、心齋橋PARCO、PARCO_ya上野の地下1階及び映画館の値を含みません。

3. 営業概況

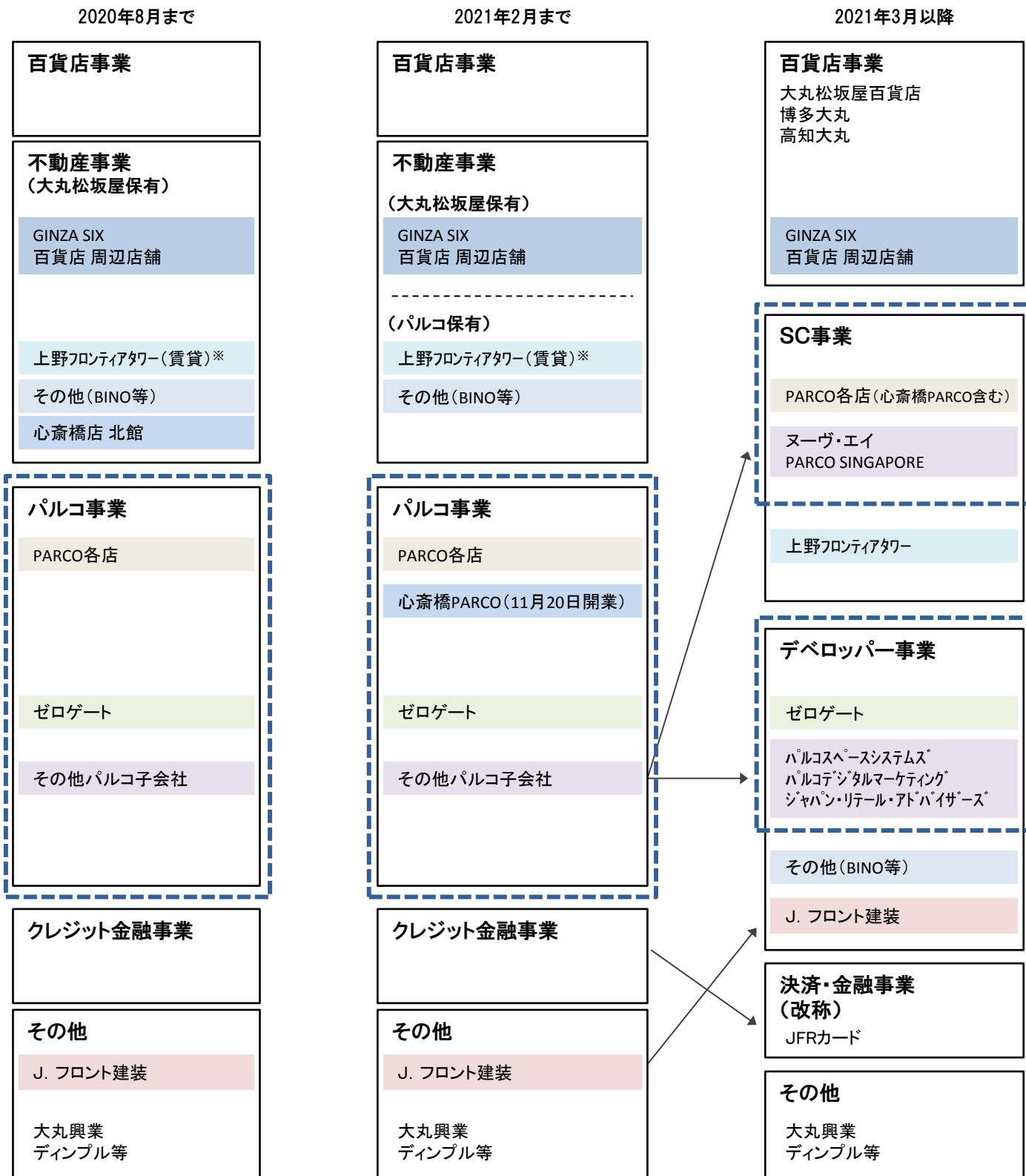
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う先月から続く緊急事態宣言により一部店舗が休業または生活必需品ショップを除いて休業したものの、前年の緊急事態宣言による全店の臨時休業の反動により、前年に対してはプラスとなった。
- ・アイテム別では、営業を継続した食品は前年のみならず前々年に対しても健闘。

※ 一部店舗が臨時休業したほか、一部店舗にて時間を短縮して営業

<ご参考> 報告セグメントの変更について

- ・当社グループは、2022年2月期から「百貨店事業」、「SC(ショッピングセンター)事業」、「デベロッパー事業」、「決済・金融事業」を報告セグメントとします。
- ・2021年2月期及び2022年2月期における当社グループの報告セグメントと、主要な子会社、不動産物件の分類の変更は下図の通りであります。

(注) 下図のうち、 の囲みは、従来までのパルコ事業の範囲を示しています。



※ 2021年2月までの「上野フロンティアタワー(賃貸)」には、PARCO_ya上野に対する(株)パルコからの不動産賃貸収入を含みます。